

第4回 秩父別町教育委員会定例会会議録

会 期

令和元年10月25日

令和元年10月25日

(会議日数 1日間)

議事日程及び順序

- 1 開会宣言 午後 4 時 00 分
- 2 開議宣告
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 前回会議録の承認
- 5 秩父別町教育委員会教育長の職務代理者の指名
- 6 議席の指定
- 7 報告事項
- 8 協議案審議
- 9 閉議宣告 午後 4 時 56 分

記録 別紙のとおり

上記会議の次第を記載し、その適正であることを承認し署名する。

令和元年 11 月 26 日

会議録署名委員 田 丸 政 彦

第4回 秩父別町教育委員会定例会会議録

令和元年 10 月 25 日（金曜日） 午後 4 時 00 分

秩父別町教育委員会に召集

出席 委 員 3 名

南 洋 子

田 丸 政 彦

宮 本 こずえ

教育長 小 林 宏 明

委員、教育長及び傍聴人を除く外議場に出席した者

教育課長 笹 木 雄 介

主幹 川 尻 智 志

主幹 大 山 達 美

主査 川 端 恵美子

会議録を作成する職員

主査 川 端 恵美子

午後 4 時 00 分 開会宣言

○小林教育長

定刻となりましたので只今より令和元年第 4 回秩父別町教育委員会定例会を開催いたします。

委員の皆様におかれましてはお忙しい中会議に出席いただきまして心から感謝申し上げます。

さて、10 月 5 日に小学校の学芸会が、9 月 7 日には中学校の学校祭がございました。お越しくございました委員の皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます、ありがとうございました。

私も拝見させていただきましたが、小学校はこども園から少し大人になった 1 年生と、最後の学芸会となる 6 年生がこれまでの練習の成果を発表しようと頑張っている姿を始め全学年が助け合いながら、そして互いに尊重し協同して作り上げた学芸会に感激いたしました。

また、中学校の学校祭もたくましく育った子供達が仲間と力を合わせ劇やダンス、合唱など生き生きと中学生らしいパフォーマンスを見せてくれるなど大変感銘を受けました。生徒会役員を始めそれぞれの生徒が責任を持って役割を果たすとともに、教職員と生徒、保護者の方が一体となった素晴らしい学校祭であったのではないかと考えております。是非これからの学校生活に活かしていくことはもちろん、自分自身の成長の糧として役立っていくことを切に願うばかりであります。

さて、後ほど教職員の人事について令和 2 年度に向けた状況についてお話しいたしますが、委員の皆様からも何かお考えいただいている事がございましたらご意見等を頂戴したいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが教育委員会の職員が 1 名病欠しております。このため、小中学校に諸通知等の文書の発出が遅れるというトラブルが一時発生し、学校にも大変迷惑をかけてしまいました。今後も職員が 1 名足りない状況での業務遂行を余儀なくされる状態が続くことになるわけではありますが、できる限り円滑に業務遂行できるよう努めてまいりたいと考えております。どうか委員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この後の審議どうぞよろしくお願いいたします。

日程番号 1 番 会議録署名委員の指名について

○小林教育長

日程番号 1 番、会議録署名委員の指名についてお願いします。

○笹木教育課長

はい、田丸委員でございます。

○小林教育長

よろしく願いいたします。

日程番号2番 前回会議録の承認

○小林教育長

日程番号2番、前回会議録の承認についてご報告願います。

○南委員

前回の会議録について先ほど確認いたしました。適正に処理されておりましたので署名したことを報告いたします。

○小林教育長

はい、ありがとうございました。

日程番号3番 秩父別町教育委員会教育長の職務代理者の指名について

○小林教育長

日程番号3番、秩父別町教育委員会教育長の職務代理者の指名について、笹木課長お願いします。

○笹木教育課長

梅澤委員が2期目の任期を9月30日で満了することから、9月11日～12日に行われた第3回町議会定例会において、教育委員の再任に同意をいただいたところです。

そこで、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項により小林教育長から長らく委員を務められ識見を有する梅澤委員を引き続き教育長職務代理者に指名する案が示されております。

○小林教育長

只今教育課長から説明がありましたとおり、梅澤委員に教育長職務代理者を指名したいと思いますが、皆様方からご意見等ございますでしょうか。

— 「なし」の声あり —

○小林教育長

ないようですので、梅澤委員に教育長職務代理者をお願いいたします。

日程番号4番 議席の指定について

○小林教育長

日程番号4番、議席の指定について、笹木課長お願いします。

○笹木教育課長

只今、梅澤委員が教育長職務代理者となられたことから慣例によりまして、

従前どおり梅澤委員を1番に、南委員を2番、田丸委員を3番、宮本委員を4番にいたしたいと思ひます。

○小林教育長

これまでどおりということをお願いしたいと思ひます。皆さんいかがでしょうか。

— 「異議なし」の声あり —

○小林教育長

それでは説明があつたとおりの議席に決定し、以降同様といたしますのでよろしくお願ひします。

日程番号5番 報告事項

○小林教育長

日程番号5番、報告事項について、1番町内校長会。9月と10月に校長会がございました。【児童・生徒の個人情報のため省略】

○小林教育長

次に2番教育長会議等について笹木課長から報告願ひします。

○笹木教育課長

(別紙に記載のとおり説明)

○小林教育長

次に3番町議会関係について報告願ひします。

○笹木教育課長

9月11日～12日開催の第3回町議会定例会について報告いたします。

町長からの行政報告では、1つ目に平成30年度財政健全化判断比率の報告として、連結実質赤字比率は何れも収支は黒字であり実質公債費比率は、平成29年度よりも国の定める指標を下回り健全団体であること、2つ目は7月22日に発生した国道233号路線での車両単独交通死亡事故の発生による交通死亡事故が3267日でストップしたことから警察署等関係機関などと連携を図りながらこれまで以上に交通安全運動を積極的に交通死亡事故防止へ取り組んでまいること、3つ目に台風8号から変わった温帯低気圧による大雨に対する対応と被害状況として、8月8日夜半から降り出した雨に対し本町防災計画に基づいた第1非常配備体制を取る中8月9日午前1時に災害対策本部を設置し、低地帯への洪水対策として内水排除に努め、午前7時26分に発令された洪水警報に対し町内会長を始め、町民への全町放送による注意喚起を行い、9日午後7時35分に洪水警報の解除とともに災害対策本部を解散し

ましたが、人的被害はなかったものの8.2haの水田が冠水被害を受けたこと、4つ目に開村125周年、町制施行60周年並びに綾川町姉妹町締結40周年記念式典の挙行について参加された関係各位への謝辞と、5つ目には農作物の生育状況として7月末までは水稻は順調で平年よりも早い状況で推移していたものの8月の低温と日照不足により生育進度が多少停滞し、小麦は順調な生育の下8月上旬に終了したととブロッコリーは極端な天候により病害・生理障害が発生し製品の品質に影響を与えるなどしたといったことと、6つ目に工事の入札結果としてふれあいプラザ照明設備改修工事と南26号橋補修工事、秩父別町B&G海洋センター改修工事ほか7件の入札結果を申し上げ行政報告を終えました。

教育長からは、外国語指導助手の招致としてナタリー・チュウさんが退任され後任にアメリカ出身のカイリー・ウィンガーさんが着任したこと、綾川町親善交流派遣事業実施として7月23日～26日までの間9名の訪問団により綾川町を訪問し、綾川町教育委員会並びに関係各位より歓待を受け無事帰町したこと、最後にキュービックコネクションにおける事故報告として、8月13日、15時55分にキュービックコネクション北側に設置してある遊具から6歳児の転落事故が発生し、ドクターヘリで旭川医大へ緊急搬送、入院し検査を受けましたが軽傷であったことから翌日無事退院し、その後も元気に学校へ登校している旨の報告がありました。

一般質問では、5議員からあり、大野議員からは「高齢者に対するタクシー助成のあり方について」質問があり、趣旨は、近年高齢者による重大な交通事故が多発している一方生活上不便であるために自主返納に応じない人も多い状況である中、本町では平成25年からタクシー助成を行っているものの農村地区の高齢者から往復の個人負担が高いといった話しや飲酒後に帰宅の足にタクシーチケットを使用するなどが聞かれることからタクシー助成のあり方を見直す必要があるのではないかとということでした。

それに対し町長は、平成25年度実施当初は満65歳以上に対し半額助成を60枚交付していたが平成27年度からは助成割合を7割に平成29年度からは年金受給率の引き上げから年間交付枚数を48枚最大9割助成に拡大し、平成30年度からは交付枚数を60枚に拡大してきたところです。本町の高齢化の一層の進展から高齢者の足の確保は重要であると考え対象年齢、公平性の観点に立ち来春に向け見直しを進めてまいりたいと考えている旨回答しております。

次に、金子議員から「高齢者に対する通院に係る交通費助成について」という質問がありました。

趣旨は、高齢者の交通事故が多発する近年、道内の死亡交通事故に占める

65歳以上の割合が56%となっており、自主返納率も東京都が全国1位である一方、北海道は40位となっており、交通の便の悪い地方にとっては大きな決断と伺われ、そこで町長の公約である「町民の健康と老後を支える施策の充実」の一環として町外の病院へ通院する場合の交通費を助成することで免許証返納の契機にしてはというものでした。

それに対し町長は、町としても高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと安心して暮らし続けられよう「地域包括ケアシステム」の構築を図る中、高齢者の足の確保対策とするタクシー助成事業は「町内商店街の活性化」、「町立診療所・歯科診療所の受診率向上」、「閉じこもり予防対策」も担っているところであるが、町外への移動は対象となっておらず、また、通院助成ともなると費用が嵩む上通院と買い物との区別が明確でなく適正な運用が見込めない上JRやバスの利用者の減が考えられることから今後は包括的な視点に立って検討して参る旨回答しております。

3人目の前田議員からは、「高齢者の自動車運転サポートの導入について」質問があり、趣旨は、近年高齢者による自動車のアクセル踏み間違い事故が多発しており後付けが出来る誤発進防止システム設置費に対する補助金助成に向けた考えを伺いたいというものでした。

それに対し町長は、高齢者の交通事故が増加の一途をたどる反面免許証の自主返納率が進んでいないのが現状の中、誤発進防止システムの設置費用が5万円前後と手軽に取付が可能であることから高齢者福祉施策の一環として前向きに検討してまいりたい旨回答しております。

4人目の真島議員は、「道の駅構想について」質問があり趣旨は、ベルパークちっぷべつにおける屋内外遊戯場の開園に伴い来町者が増え、にぎわいを見せる中、町内飲食店などにも経済効果がでてきていると思われるところであるが、道の駅が売店とトイレだけとなり今後の施設の充実に向け新築構想がどのように検討されているか伺いたいというものでした。

それに対し町長は、本年3月に道の駅・ベルパークエリア周辺を段階的にリニューアルする計画が策定されたところであるが、予算規模が大規模であることや人口減少・少子高齢化が進む中、今後の集客の継続性、周辺施設との連携などを鑑み1～2年程度時間をかけ検討して参る旨回答しております。

5人目の岡崎議員は、「保養研修施設利用料金の改定について」質問があり趣旨は、平成30年度の保養研修施設の収支が臨時的な支出を差し引いても3,800万円程の実質的な赤字となっている現状において、10月からの消費税10%により施設運営経費も上がり利益率も減少することが伺われることから入館料改定に向けた検討をしてはというものでした。

それに対し町長は、6月の定例会で宿泊料金値上げの改定をさせていただ

いたが、まちづくりの拠点と位置付ける本町の温泉施設は、近隣施設で値上げにより利用客が減少し元の料金に戻した経緯があることから入館料の値上げを見送りさせていただいたところであり、今後も温泉施設の健全運営のため料金改定に向け検討して参りたい旨回答しております。

議案では、条例の変更に関するもの3件、組合規約の一部を変更する規約が2件、一般会計及び特別会計の補正予算など議案が12本、人事案件3本でいずれも可決されております。その中で、教育委員の任命について提案があり、梅澤委員の再任について同意がなされております。また、平成30年度の一般会計等6会計の決算が認定されております。

以上、議会関係の報告とさせていただきます。

○小林教育長

はい、今報告がありましたけども何かありますでしょうか。

— 声なし —

○小林教育長

ありませんか。

— 「はい」の声あり —

○小林教育長

はい、ないということで次に進めさせていただきます。

○小林教育長

4番その他(1)行事関係について報告願います。

○笹木教育課長

(別紙に記載のとおり説明)

日程番号6番 協議案

○小林教育長

次に、日程番号6番、協議案について事務局より説明願います。

○笹木教育課長

1番次期委員会について、及び2番教育委員の教育関係施設訪問の実施について。次期委員会について、例年この11月の学校訪問と併せて教育委員会を開催しております。学校から都合の良い日程、悪い日程を既に確認させていただいております。時間については午後1時くらいに集まっております。小学校を1時半からと考えております。

(協議の上、第1案11月19日、第2案26日で13時集合とする。本日欠席の梅澤職務代理者に都合を伺い決定する。)

○小林教育長

では、よろしく願いいたします。

○小林教育長

次、3番その他、(1)教職員人事について。では、私からお話し申し上げます。

去る10月8日に空知管内の教職員人事推進会議が岩見沢市で行われました。今年度は例年よりおよそ1か月早く9月初旬に人事に係わる個人調書が発出され、それを受けまして本町では11月1日にまず私と教育局とで人事に係わる第1次協議を行ってございます。昨年度は教育長・校長・教頭との人事協議を同時、並行で行っていましたが、教育局の対応に不備が生じたことから今年度はまず教育長との人事協議を行い、それを受けて校長・教頭との一般人事が行われるように変更になりました。

近年人事を行う上で学校を取り巻く環境が大きく変わっておりまして、とりわけ年々統廃合が進んでおり学校数の減少が課題になっております。ちなみに平成の30年間で、空知管内の小学校は138校から64校に半減しております。中学校は70校から41校に大きく減りました。

そうした現状を踏まえまして、もはや一つの学校だけでなく、その町・地域の未来を担う学校としてその地域の将来を考える崇高な理想と信念を持って、学校長はもとより教職員はその職務の遂行に当たらなければならない、そんな時代に突入したと考えております。何れにいたしましても教職員の人事異動は各学校や地域における教育の均等化と教育水準の向上を目指して推進していくことが重要であり、同時に一人一人の教職員のライフステージを高めていく機能を十分考慮するなど、教育委員会といたしましても改めて教職員一人一人に人事異動の趣旨を十分周知するとともに、異動にあたっては教職員一人一人が本町において、また学校において重要な役割を担って人事異動するということを学校や職員に対し十分説明していきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、どうか今後の人事についてご意見いただきますようよろしくお願いいたします。私からは以上でございます。

○小林教育長

何かありますでしょうか。

— 声なし —

○小林教育長

では、(2)令和元年度秩父別町社会教育・体育事業実施報告(上期)について報告願います。

○大山主幹

(別紙「令和元年度秩父別町社会教育・体育事業実施報告」と「令和元年度社会教育・体育事業実施報告(抜粋)」により説明する。)

○川尻主幹

(別紙「(各施設)利用状況」により説明する。)

○小林教育長

只今報告がありました。何かご意見等ありましたらお受けしたいと思います。

— 声なし —

○小林教育長

ないですか。

— 声なし —

○小林教育長

はい、それでは先に進めさせていただきます。

○小林教育長

次、(3)その他、行事予定を説明よろしく申し上げます。

○笹木教育課長

(別紙に記載のとおり説明)

○小林教育長

只今行事予定について説明がありましたが、何かこの件に係わっておりますか。

— 声なし —

○小林教育長

よろしいですか。

— 声なし —

○小林教育長

全体を通して皆さんから何かご質問等ありましたら承りますがいかがですか。

— 声なし —

○小林教育長

特にありませんか。

— 声なし —

○小林教育長

はい、ないようですので第4回秩父別町教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございます。

午後 4 時 56 分閉会

[27 : 12~43 : 50] 大山主幹 社会教育・体育事業実施報告

[43 : 50~53 : 54] 川尻主幹 各施設利用状況

[2 : 35] 教育長 開会挨拶一部

最後になりますが教育委員会の職員であります石橋ですが、現在病気療養のため病欠しております。このため、小中学校には教職員免許の更新に係る通知を始め、給与昇給の決定通知、特別支援学級における教員の認定等の通知など文書の発出が遅れるというトラブルが一時発生し、学校にも大変迷惑をかけてしまいました。今後も職員が1名足りない状況での業務遂行を余儀なくされる状態が続くことになるわけではありますが、できる限り円滑に業務遂行できるよう努めてまいりたいと考えております。どうか委員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この後の審議どうぞよろしくお願いいたします。